

## イエス様の十字架① 自分自身のために泣け

ルカ23章26-31節  
2015,3,8 HKJCF

## 概要

- 序)①イエス様の暗黒裁判  
②バラバの十字架がイエス様へ
- |              |       |
|--------------|-------|
| 1、クレネ人シモン    | 26    |
| 2、女たちの悲しみ    | 27-31 |
| 3、十字架への3つの姿勢 |       |

## I クレネ人シモン

- 1、ローマ人、ユダヤ人、アフリカ人
  - 2、バラバとシモン
- ①バラバ: 幸運な人?  
②シモン: 不運な人?
- 3、シモンの祝福: 強いられて主に出会う  
⇒①イエス様が負われた身代わりの十字架②負わされた十字架③自ら十字架を負う生き方 マタイ5:41, マルコ15:21, ローマ16:13, Iヨハネ4:10, ルカ9:23-24, ガラテヤ2:20

## II 女たちの悲しみ

- 1、弟子たちの逃亡
  - 2、女たちの悲嘆・愛慕
  - 3、悲しみから信仰へ: エルサレムの娘へ
- ⇒①十字架の死は悲劇しかし、問題は死後の裁き②悲劇そのものより、悲劇の意味の理解が重要③やがて、聖書は神様の裁きと裁きが十字架上のイエス様に下った事を明らかにする④自己の罪認識と神様の裁きへの悲しみ、畏れが分岐点

## III 十字架への姿勢

- 1、バラバ: 幸運・いのち拾い・十字架の意味は掘り下げず・人格的变化なし→後の人生は不明(ミッション・バラバ?)
- 2、シモン: 災難・損失・葛藤・主の弟子たちとの出会い・十字架の意味の発見  
→主の弟子へ
- 3、女(弟子)たち: 悲劇・悲嘆・愛慕・自己洞察・復活の主との出会い→真の弟子へ  
⇒シモンと女たちの変化が信仰の証明

## IV 適用と祈り

父なる神様 今日も十字架に集中できて感謝します 十字架は悲劇です しかし、神様の義の前にイエス様の十字架がなければ私の罪は赦されなかったことを思います 私は主の十字架を悲しむとともに私自身の罪を悲しみます そして、感謝します 主の十字架は私の赦しと生まれ変わりのための十字架だからです 将来、強いられた苦難があっても、そのことを通し、自我に死に、イエス様に会えますように